

176. 理学療法教育における意欲低下 学生に関する研究

【キーワード】

アパシー・意欲低下・重回帰分析

長崎大学医療技術短期大学部

田原 弘幸・沖田 実・井口 茂

鶴崎 俊哉

長崎リハビリテーション学院

天満 和人

長崎医療技術専門学校

坂本 繁樹

【はじめに】

ストレス社会ともいわれる環境の中で生活するわれわれすべてにとって、メンタルヘルスの問題は重大な関心事である(土川, 1990)。このことは教育の場においても然りで、P. ウォルターズが勉学や学業に対して無関心・無気力な大学生を「スチューデント・アパシー」と呼んで以来多くの報告がされてきた。このような現象は、職業選択の決定が比較的明確といえる理学療法教育の場においても観察され、入学後勉学への意欲を失って、留年や休学、なかには退学に至るという学生異動の実態も報告されている。

本研究では、下山(1995)を参考に、学生のアパシーを人格障害レベルのものと区別し、無気力を意欲低下としてとらえ、その上で意欲低下が生じる領域を3領域に分けて考えた。そして目的学科である理学療法学科学生において、学生無気力症とも呼ばれる学生の問題行動が、先行研究で直接的・間接的に関与すると報告されている要因とどのような関連をもつかについて検討した。

【対象と方法】

対象は、理学療法士養成校(短大1, 専門学校2)に入学した新1年生102名である。内訳は男性41名、女性61名で、平均年齢は男性 19.2 ± 1.8 歳、女性 18.8 ± 2.0 歳であった。

意欲低下を測定する尺度は、勉学への興味を失い学業領域での意欲低下を示す「学業意欲低下」、授業領域での意欲低下を示す「授業意欲低下」、学校への所属感がなく学校領域での意欲低下を示す「学校意欲低下」の3領域の下位尺度(各5項目、4段階評定)に分けた。そして、関連要因である「アイデンティティ」(20項目)、「モチアリム」(24項目)、「自尊感情」(10項目)、「進学志望動機」(20項目)の各4段階評定による尺度と合わせた質問紙を作成した。調査は入学後1ヶ月以内に集団的に施行した。

結果の分析には、統計パッケージ Stat View を使用し、有意水準はすべて5%未満とした。

【結果】

「意欲低下(全体)」および下位尺度間との相関係数を求めると、「意欲低下(全体)」は学業・授業・学校意欲低下と $r=0.523(p<0.0001)$, $0.678(p<0.0001)$, $0.489(p<0.0001)$ の相関を認め、各下位尺度間には有意な相関がなく、3つの下位尺度は独立した尺度で、しかも「意欲低下(全体)」に反映するものであった。次に、「意欲低下(全体)」および各下位尺度と関連要因との相関係数を求めると、「意欲低下(全体)」は「アイデンティティ」($r=-0.225, p<0.05$)と「モチアリム」($r=0.315, p<0.005$)で、「学業意欲低下」は「アイデンティティ」($r=-0.209, p<0.05$)、「自尊感情」($r=-0.232, p<0.05$)と「進学志望動機」($r=-0.227, p<0.05$)で、「授業意欲低下」は「モチアリム」($r=0.388, p<0.0001$)と、「自尊感情」($r=0.299, p<0.005$)で、「学校意欲低下」は「アイデンティティ」($r=-0.361, p<0.0005$)と有意な相関を認めた。これらの結果から「意欲低下(全体)」と各下位尺度を目的変数に、「アイデンティティ」、「モチアリム」、「自尊感情」、「進学志望動機」を説明変数として重回帰分析を実施した。その結果、いずれの重相関係数も有意な結果を得た(表)。また標準偏回帰係数は表のとおりで、標準偏回帰係数が有意であった関連性の検討から、関連要因と意欲低下との関連性は各領域でそれぞれ異なっていた。

【考察】

上記の結果より、意欲低下と「アイデンティティ」、「モチアリム」、「自尊感情」、「進学志望動機」との関連の特徴が明らかとなった。進学志望動機が意欲低下と関連性を示さなかったことは、鉄島(1993)が、一般大学生でアパシー傾向との関連性を指摘していることと一致しなかった。これは理学療法学科学生では将来の職業選択が比較的明確であることに起因するものであると推測される。また関連要因と意欲低下との関連性は各領域で異なっていたが、このことは意欲低下学生への対応において、各領域との関連要因を考慮する必要があることを示唆するものである。以上、理学療法学科学生の意欲低下の要因として「アイデンティティ」、「モチアリム」、「自尊感情」、「進学志望動機」を取り上げ、重回帰分析を用いて意欲低下との関連について検討した。今後の課題として、対象者の増大、尺度の信頼性、調査時期、性差についての検討が必要と考える。

(表) 意欲低下と説明変数間との重回帰分析

	意欲低下(全体)	学業意欲低下	授業意欲低下	学校意欲低下
アイデンティティ	-0.149	-0.201*	0.158	-0.347***
モチアリム	0.300***	0.033	0.333***	0.097
自尊感情	0.029	-0.257*	0.214*	0.062
進学志望動機	-0.173	-0.152	-0.122	0.010
重相関係数(R)	0.407***	0.367***	0.457***	0.385***

* $p<0.05$, *** $p<0.005$, **** $p<0.001$